

研修名	専門課程 河川施設〔設計・保全〕 【集合】 (平成26年度～) (昭和40～平成23年度:「A.コンクリート構造物設計」、「B.河道・河川堤防構造物設計」の2コースに分割実施、平成24～25年度:「河川構造物」)					事務	技術
							○
目的・重点事項	河川堤防や樋門等の河川管理施設の設計及び保全(維持管理及び補修・補強等)に関する専門知識を修得させ、新技術等を活用した施設設計や急速に進む施設の老朽化に対しても、適切に対応できる人材を育成することを目的とする。 以下の点を重点項目とする。 ① 堤防設計・施設設計のための専門知識の修得 ② 維持管理や環境を考慮した施設設計のための専門知識の修得 ③ 新技術を活用した施設設計・施設保全のための専門知識の修得 ④ 施設の点検・診断・評価に関する専門知識の修得						
対象者	国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、中核市又は独立行政法人等の技術系職員で、河川の計画・設計・管理に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者 ① 地方整備局本局・事務所・出張所の係長又はこれと同等の職にあると認められる者 ② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者						
定員(人) ※目安	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計	
	18	1	10	1		30	
研修期間	65.5時間 12日間			令和6年12月2日(月)～ 令和6年12月13日(金)			
カリキュラム内容 (予定時間)	1. 講義(30.0) ① 基本科目(7.5) 河川行政の現状と課題、洪水の水理と河川構造物の設計法、これからの施設管理のあり方、河川構造物の点検について ② 専門科目(22.5) 河川堤防の設計、護岸・水制・河川横断工作物の設計概論、耐震設計、樋門の設計、堰の設計、仮設構造物の設計と施工、堤防補強・堤防強化対策、河川構造物の戦略的維持管理、景観デザイン論等 2. 課題研究(33.5) ① 堤防設計演習(20.5) 堤防設計のソフトを使用した堤防設計演習(講義を含む)と全体討議 ② 施設点検結果の判定・評価・対策案の策定(13.0) 3. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス						計 65.5
前年度からの 主な変更点	ハイブリッド→集合、コース分け廃止						
担当 国交大・本省	国交大:建設部 建設第一科 (TEL:042-321-0645) 本省:水管理・国土保全局 治水課、同局河川環境課 河川保全企画室						
備考	テキスト代(予定) 40,000円						